



「ち」と「わざ」の意味

■ ち

知：しること。しらせること。したしくすること。
つかさどりこと。さとること
心に感じとる。わかる。
仲良くなる。親しくなる。
相手にわからせる。
世を治める。つかさどる。
物事の本質を正しく見通す。
感覚や判断・記憶などの働きを含めてう。
知覚・知識・交友
（仏）一般の分別・判断・認識の作用

智：ものを考え、判断する力
物事をとらえて、理解する働き。
頭がよい。かしこい。
（仏）高次の宗教的叡智の意味

・・・

■ わざ

技：肉体を用いて行う時の、手並み。
頭脳によってする物事の出来栄え。うでまえ。
術：繰り返し練習して体得した能力・方法。やり方
工作や仕事をうまくこなす方法。
芸：修練によって得た技能。技能を伴うあそびごとのわざ
自然の素材に手を加えて形よく仕上げること
機知や工夫。手を加えて栽培する
形よく仕上げること。人工を加える仕事。技術や学問
工：ものを作ること。細工や技術
材料に手を加えてものを作ること
業：くらしの手だて。なりわい。生活のためにする仕事
特別な能力を必要とする行為や仕事。学問や技芸
幹：広く物事を中心や本筋のこと
人間の筋金となる強い力。転じて、仕事をする能力・才幹
伎：細かいわざや細工。それを心得た人

・・・